

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	356 ころとからだの健康教室						
予算科目	08-030201-11	ころとからだの健康教室事業に要す				担当部課	福祉部地域包括支援課
市長公約						係名	介護予防係
戦略プラン						新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（義務）
						事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市高齢者福祉計画					事業期間	毎年度
根拠法令等	介護保険法					SDGs	03すべての人に健康と福祉を
							11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	高齢者
目的	認知機能向上を目的とした市民の健康の維持・増進を図る。
概要 (取組内容)	一般介護予防事業として、認知機能向上を目的とした「脳元気アップ教室」を3クール開催する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,909	1,680	412	495	495	
	決算額	(千円)	195	314	356	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	23	37	94	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	68	110	122	0	0
		その他	(千円)	104	167	140	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,720	1,367	2,724	2,724	2,724	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.20	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	ころとからだの健康教室の参加者実人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	350.0	350.0	350.0	400.0	400.0	400.0
	実績	225.0	18.0	23.0	44.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	市民にとってより地域に根差した教室を開催するため、全圏域での開催について、各委託地域包括支援センターと検討を重ね、次年度以降の道筋を立てることができた。				
成果	教室参加者の満足度が高く、教室前後での意識変容も見られたことから、認知機能の維持向上に関する知識や実践について幅広く啓発することができた。				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td>認知症予防のみならずより介護予防の視点を重視した教室を開催する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td></td> </tr> </table>	業務	認知症予防のみならずより介護予防の視点を重視した教室を開催する必要がある。	組織、予算等	
業務	認知症予防のみならずより介護予防の視点を重視した教室を開催する必要がある。				
組織、予算等					
改善目標	心身機能の維持向上にも着目し、教室対象者を「要支援1又は2の認定があり、かつサービス未利用者」とし、要介護になることを遅らせるための教室を開催する。				

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	358 地域包括支援センター・在宅介護支援センターの運営指導事務					
予算科目	08-030301-11 包括的支援事業総務に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	包括支援係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援の体制整備を行う。
概要 (取組内容)	地域包括支援センター定例会を実施し、活動状況や困難事例の共有・検討を行うことで、地域包括支援センター間の連絡調整やネットワーク強化を行う。各地域包括支援センターの事業計画・実績報告作成の際に内容を確認し、助言を行う。 毎月提出される相談票や実績報告を把握し、適切な相談支援に向けた指導を行う。 市職員が各地域包括支援センターに出向いて、ケース共有会議を実施し、ケース支援について助言を行う。併せて、各センターの運営体制状況の確認を行い、不足事項についての指導を実施する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	150,000	148,500	144,000	180,000	180,000	
	決算額	(千円)	135,000	146,000	138,703	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	25,988	28,105	31,903	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	77,962	84,315	80,100	0	0
		その他	(千円)	31,050	33,580	26,700	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,843	2,172	3,528	3,405	3,405	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.30	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	50.00	50.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページに掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	審議会等（地域包括支援センター運営協議会）

指標の推移

1	指標名	地域包括支援センター相談件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	9,417.0	11,694.0	10,314.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	実情に即していないため、令和4年度から本指標を廃止する。					

2	指標名	相談件数（延べ）（件）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	14,205.0	20,214.0	23,712.0	16,693.0	0.0	0.0
	指標の概要	どの数値かを明示するため、令和4年度から本指標を追加する。					
3	指標名	対応件数（延べ）（件）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	21,062.0	26,045.0	35,330.0	34,401.0	0.0	0.0
	指標の概要	継続対応が必要な相談を明らかにするため、令和4年度から本指標を追加する。					
4	指標名	地域包括支援センターの認知度（一般高齢者）（%）					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	51.8	0.0	0.0
	指標の概要	地域包括支援センターの取組の成果を表す指標を作成したため、令和4年度から本指標を追加する。					
5	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	定例会の報告方式を変更し、困難事例への助言、好事例の展開の機会とした。また、研修や他課との意見交換の機会を設けた。 令和5年度の地域包括支援センター業務委託では、人件費分を増額することとした。	
成果	月例報告の方式を変更し、困難事例への助言、好事例の展開の機会とすることで対応力の向上、研修や他課との意見交換の機会を設けることで関係部署や他機関との連携の強化ができた。 高齢者人口の増加に対応した形で全圏域の地域包括支援センターを引き続き運営することができた。	
課題	業務	高齢者が地域で生活を継続できるよう、センターの更なる対応力向上、関係部署や他機関との連携が必要である。
	組織、予算等	法人側での人員の確保、実情に応じた委託料、センターの配置等について検討していく必要がある。
改善目標	様々な課題に対応できるよう、センターの意見を聞きながら、引き続き事例共有や意見交換の場を設けていく。 今後を見据えてセンターの設置体制を検討する。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	360 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業					
予算科目	08-030301-11 包括的支援事業総務に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	地域の様々な社会資源を活用し、高齢者の在宅での生活継続ができるよう支援する。
概要 (取組内容)	介護支援専門員へ相談支援、サービス担当者会議支援 保健福祉関係者への市内の保健福祉サービスや民間関連サービス情報提供 ケアマネジャー連絡会や研修会開催支援 圏域別ケア会議や在宅医療介護連携事業への出席

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	60	60	61	96	96	
	決算額	(千円)	55	42	52	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	11	7	12	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	33	26	30	0	0
		その他	(千円)	11	9	10	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,729	1,049	3,772	3,405	3,405	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.10	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	150.00	150.00	150.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	介護支援専門員への相談件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	868.0	1,495.0	2,300.0	2,629.0	0.0	0.0
	指標の概要	直営と委託包括支援センター（6か所）の相談件数の合計					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	つくばケアマネジャー連絡会の組織力強化を側面からサポートし、地域の介護支援専門員及び主任介護支援専門員の自律的な活動促進を支援した。また、主任介護支援専門員の指導的役割やありたい姿について、研修会や圏域別ケア会議において、自律的な支援を行えるようにサポートした。
成果	地域のケアマネジャーが、業務及びネットワーク構築における課題を自律的に把握し、課題解決に向けた研修会や意見交換会を実施できるようになった。また、主任介護支援専門員においては、介護支援専門員が主体的に行動できるように支援を行うことができ、指導を担う役割を認識し行動することにつながった。
課題	業務 多様化する相談に対して、地域包括支援センターのみならず、地域の主任介護支援専門員の相談援助技術の維持及び向上への支援が必要。 組織、予算等
改善目標	多様な生活課題を抱える高齢者等が地域でその人らしい生活が継続できるよう、支援に関わる介護支援専門員の専門性向上及び介護支援専門員から相談を受ける主任介護支援専門員の相談援助技術の向上のため、相談実態を把握し、実態に応じた研修会を実施する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	361 権利擁護事務					
予算科目	08-030301-11 包括的支援事業総務に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	包括支援係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	権利侵害を受けている高齢者や、自ら権利を主張することや行使することが難しい高齢者の生活を支援する。
概要 (取組内容)	成年後見制度、日常生活自立支援事業等の活用促進を図る。 老人福祉施設等への権利擁護に関する研修の実施 高齢者虐待対応と養護者支援

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	192	192	192	192	192	
	決算額	(千円)	48	112	48	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	12	24	12	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	27	66	27	0	0
		その他	(千円)	9	22	9	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,606	928	3,650	3,405	3,405	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.10	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市のホームページに掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	権利擁護相談件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	159.0	139.0	91.0	109.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	地域の高齢者との関わりが強い民生委員に対して周知啓発を実施した。また、介護サービス提供事業所に対して虐待防止研修を行った。
成果	居宅介護支援事業所等に対して、虐待防止研修を実施し迅速な対応・通報相談を依頼することができた。また入所施設に対しては、虐待定義や権利擁護についての研修を実施した。
課題	<p>業務 高齢者虐待防止法や虐待対応マニュアルに基づいて虐待対応を行っているが、支援拒否や対応困難な事例が多く、センター職員の負担感が大きい。</p> <p>組織、予算等</p>
改善目標	様々な事例に対応できるよう市と委託センターとの虐待対応の連携強化及び対応マニュアルの見直しを行い、職員の負担軽減を図る。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	362 実態把握訪問					
予算科目	08-030301-11 包括的支援事業総務に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	要介護状態になるおそれのある市民の健康の維持・増進を図る。
概要 (取組内容)	KDBシステムから対象者を抽出し、閉じこもりや生活能力低下、認知機能低下、社会性の低下、医療等で関わり支援が必要な対象者へ訪問等を実施し介護予防につなげる。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	4,516	4,545	4,667	5,749	5,749	
	決算額	(千円)	5,532	4,121	4,112	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,067	795	947	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	3,193	2,379	2,374	0	0
		その他	(千円)	1,272	947	791	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,360	684	2,724	2,724	2,724	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.10	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	要支援者の実態把握訪問を実施する (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	300.0	300.0	300.0	350.0	350.0	400.0
	実績	249.0	595.0	292.0	387.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	家庭訪問の結果、継続的支援を要する市民については、より地域に身近な委託地域包括支援センターと情報を共有し、様々な有事の際に連携した支援ができるよう、連携を強化することができた。	
成果	健診未受診者、治療中断者、低栄養ハイリスク者、介護サービス未利用者等に家庭訪問を実施し、関係機関と連携を図り、必要なサービス支援につなげることができた。	
課題	業務	より地域に根差した活動とするため、委託地域包括支援センターと協働することが必要である。
	組織、予算等	
改善目標	委託地域包括支援センターと協働して実態把握に取り組むとともに、結果分析等情報の共有を図る。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	364 成年後見制度活用支援					
予算科目	08-030302-14 成年後見制度利用支援事業に要する経			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	包括支援係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
	成年後見制度利用促進法				11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	高齢者が、認知症等により判断能力が低下し、金銭管理、契約行為を行うことが困難となった場合に、その高齢者の権利を擁護する。
概要 (取組内容)	成年後見制度等を利用し高齢者の権利擁護を図る。必要に応じ成年後見制度の市長申立てを行う。市からつくば市社会福祉協議会への委託により設置された中核機関において、成年後見制度に関する相談を受け支援を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,243	2,242	2,279	2,281	2,281	
	決算額	(千円)	786	46	198	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	181	11	46	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	454	25	114	0	0
		その他	(千円)	151	10	38	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,437	2,771	3,442	3,405	3,405	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.40	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	15.00	15.00	15.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページへの掲載、市民講座の開催
企画・立案、計画	つくば市成年後見制度利用促進基本計画のアンケート
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	成年後見制度相談件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	65.0	70.0	38.0	25.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	制度利用が必要な対象者に対して、相談支援や受任者調整会議を実施し、制度利用につなげる体制を整備した。	
成果	つくば市成年後見制度利用支援事業助成金支給：1件 成年後見制度市長申立て：2件	
課題	業務	対象者の支援に関わる職員の相談援助技術の向上や市民後見人の活用について、市と委託先とで協議を実施し対応の改善が必要である。
	組織、予算等	高齢者人口の増加に伴い、相談対応件数が増加している。 関係機関等への制度の周知啓発に対し、継続した取組が必要である。
改善目標	市民後見人の育成・活用の在り方の検討を行う。また、市・委託先等において対応力、業務効率の向上に向けた取組を行う。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	365 介護予防支援事業					
予算科目	08-050101-11 指定介護予防支援事業に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	介護サービスを利用することで、できる限り居宅で自立した生活を継続できるようにする。
概要 (取組内容)	介護サービス利用のための介護予防ケアマネジメントを居宅支援事業所に委託する。 適切なケアプラン作成、サービス提供に向け介護支援専門員からの相談等に対する支援 国民健康保険団体連合会への請求業務、居宅介護支援事業所への委託料支払業務

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	10,730	861	237	313	313	
	決算額	(千円)	3,694	45	97	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	3,694	45	97	0	0
人件費	人件費計	(千円)	10,642	7,517	1,362	1,362	1,362	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	1.10	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	180.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	介護予防支援委託件数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	521.0	186.0	1.0	2.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	地域包括支援センター及び業務委託を受けている居宅介護支援事業所が業務を実施するにあたっての手順書の見直しについて、委託元の地域包括支援センター職員と合同での見直し業務を実施。	
成果	地域包括支援センターとの意見交換から、居宅介護支援事業所において、理解不足や業務遅延等、適切なケアマネジメントが遂行されていない状況が継続的に散見される実態を把握できたことで、手順書の見直し後の周知だけでなく、研修会等を通じて、理解が得られるようにしていく課題を把握することができた。	
課題	業務	手順書について、業務に従事する地域包括支援センターの意見を踏まえつつ、令和6年度の制度改正を考慮して整備する必要があること、また、業務委託を受けている居宅介護支援事業所への指導を強化する必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	手順書について、地域包括支援センター及び介護予防支援業務受託者の理解が得られにくいことがないかを把握しつつ、制度改正の内容を踏まえた見直しを行う。また、制度に関する相互理解の下、適切な業務が遂行されるよう、介護予防に資する介護予防支援業務の実施に関する研修会を実施する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続	
理由		

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	368 認知症総合支援事業					
予算科目	08-030301-13 認知症総合支援に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	認知症総合支援係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	認知症の早期診断・早期対応のため相談支援を行い、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域の構築を推進する。
概要 (取組内容)	保健医療及び福祉に関する専門的知識を有する者により、認知症の早期における症状悪化防止のための支援の他、認知症の方、その疑いのある方に対する総合的な支援を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	9,209	11,830	12,316	13,129	13,129	
	決算額	(千円)	7,154	7,286	8,716	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,646	1,404	2,007	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	4,131	4,207	5,032	0	0
		その他	(千円)	1,377	1,675	1,677	0	0
人件費	人件費計	(千円)	9,594	8,274	10,970	10,970	10,970	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.40	1.20	1.60	1.60	1.60
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	広報つくば、市ホームページへの掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	地域包括支援センター運営協議会、認知症初期集中支援チーム検討委員会

指標の推移

1	指標名	認知症カフェ開催数（延べ）					（ 会議 ）	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
	目標値	36.0	36.0	40.0	40.0	50.0	50.0	
	実績	43.0	27.0	40.0	69.0	0.0	0.0	
	指標の概要							

2	指標名	認知症カフェ参加数（延べ）（人）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	830.0	217.0	320.0	573.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	認知症カフェが未設置であった2圏域のうち、谷田部西圏域で新規開設することができた。	
成果	<p>認知症カフェでは、コロナ禍で減少していた参加者数や開催回数が回復しつつあり、認知症の人やその家族、地域の人との交流の場としての役割を果たすことができた。</p> <p>谷田部東圏域で企画から市民が参加し、認知症への正しい理解と対応方法を学ぶことを目的に認知症声かけ模擬訓練を実施することができた。</p>	
課題	業務	—
	組織、予算等	認知症カフェで未設置の圏域がある。
改善目標	地域の団体及び当該圏域の委託地域包括支援センターとの調整を図り、認知症カフェの未設置圏域での新規開設を目指す。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	—	法令等により市の実施が定められている。
優先度	—	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	370 短期集中予防サービス「訪問型サービスC」					
予算科目	08-030101-14 短期集中予防サービスに要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	生活機能の低下や低栄養・口腔機能の低下が認められる要支援1、2または事業対象者に対して、短期集中での支援を行う。
概要 (取組内容)	介護保険法の「介護予防・日常生活支援総合事業」により、市町村が中心となり地域の実情に応じた多様なサービスを充実させることで要支援者等に対する効果的で効率的な支援等を目指す。 短期集中予防サービス「訪問型サービスC」は、①運動機能向上プログラム、②低栄養改善・口腔機能向上プログラムの二つからなり、専門職が短期集中での訪問指導を行うことで、高齢者が心身機能を改善するとともに、活動や参加を促進し、自立した生活を送ることができるよう、個々の状態に応じた適切な支援を行うサービスである。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,920	1,920	960	1,824	1,824	
	決算額	(千円)	896	520	1,320	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	113	66	344	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	309	179	455	0	0
		その他	(千円)	474	275	521	0	0
人件費	人件費計	(千円)	681	684	1,362	1,362	1,362	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	訪問型サービスC利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	実績	6.0	11.0	7.0	17.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	ケアマネジャーからの申込みだけでなく、実態把握訪問において新たに対象となった市民に対して、市がケアマネジメントを行い、当該事業の利用につなげていくことができた。	
成果	事業の周知を継続的に取り組んできたことや、他事業との連動性を生かすことで、実績が大幅に伸びた。	
課題	業務	事業の周知を継続的に取り組む必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	ケアマネジャー会や地域ケア会議など、機会をとらえて事業の周知をしていく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	371 認知症高齢者等保護支援事業 ※名称変更					
予算科目	08-030302-12 高齢者生活支援に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	認知症総合支援係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	介護を行う家族の負担の軽減を図る。
概要 (取組内容)	認知症等により行方不明になる恐れのある高齢者に位置情報端末機を貸与し、万が一、行方がわからなくなった場合に、位置情報等を特定し知らせることで、家族が保護できるように支援する。 家族等から申請を受け、市で対象条件を確認して決定後、機器を貸与する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	506	480	527	338	338	
	決算額	(千円)	26	57	93	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6	13	24	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	15	31	52	0	0
		その他	(千円)	5	13	17	0	0
人件費	人件費計	(千円)	680	684	1,362	1,362	1,362	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	広報つくば、市ホームページへの掲載
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

指標名	支援サービス利用者数 (人)						活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績	8.0	9.0	12.0	14.0	0.0	0.0
指標の概要	端末機を貸与している人数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	地域包括支援センター職員や介護支援専門員に対し、事業の周知を行った。	
成果	介護支援専門員に事業を繰り返し周知したことで、新規契約者が多く、GPSの相談も多く寄せられた。事業の利用により、認知症高齢者等を介護する家族の負担を軽減することができた。	
課題	業務	引き続き、市民や関係職種に対し当事業の周知を行う必要がある。
	組織、予算等	—
改善目標	市民や、関係職種に対し周知活動を行う。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	000 地域リハビリテーション活動支援事業					
予算科目	08-030201-16	地域リハビリテーション活動支援事業			担当部課	福祉部地域包括支援課
市長公約					係名	介護予防係
戦略プラン					新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（義務）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	介護保険法				SDGs	03すべての人に健康と福祉を
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	高齢者
目的	個人宅やサービス提供事業所、住民主体の通いの場等へリハビリテーション専門職を派遣し、介護予防の取り組みを総合的に支援する。
概要 (取組内容)	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士などのリハビリテーション専門職を、個人宅やサービス提供事業所、住民主体の通いの場等へ派遣し、介護予防に関する技術的助言、サービス担当者会議におけるケアマネジメント支援を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	147	359	359	359	359	
	決算額	(千円)	51	218	173	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7	29	46	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	17	74	59	0	0
		その他	(千円)	27	115	68	0	0
人件費	人件費計	(千円)	680	684	1,362	1,362	1,362	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	訪問回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	実績	11.0	12.0	36.0	29.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	委託地域包括支援センターや他事業における周知を積極的に行うことで、必要な市民に対する利用促進を図った。	
成果	実態把握訪問からの申込みが多く、具体的な介護予防の指導につなげることができた。	
課題	業務	事業周知を継続的に取り組んでいくとともに、リハビリテーション専門職の活用について拡大を検討していく必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	リハビリテーション専門職が地域で活用される場面について、具体的な検討を重ねていく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	108 高齢者等買物支援事業					
予算科目	01-030102-27 高齢者等買物支援事業に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン				新規・継続	新規	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（直接）	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	身近な商店の減少や高齢化、移動の制約等により、日常生活に必要な食料品及び日用品等の買物が困難な状況に置かれた高齢者等に対し、移動販売事業者への補助を行う。
概要 (取組内容)	条件を満たした移動販売事業者に対し補助を行い、市内の移動販売需要に対応することで、買物が困難な高齢者等を支援する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	4,000	4,000	4,000	
	決算額	(千円)	0	0	4,000	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	4,000	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	1,362	2,724	2,724	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.20	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	各販売場所の利用者概数 ()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	40,000.0	36,000.0	36,000.0
	実績	0.0	0.0	0.0	33,000.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	各地区の要望や高齢者分布図や介護度等からニーズを把握し、今年度から開始された3台目の販売ルートを選定した。	
成果	移動販売事業者を公募し、(株)カスミを選定した。市内2ルート(大穂店、万博記念公園駅前店)で移動販売を行った。 11月末からは3ルート目(学園の森店)が開始され、市内延べ151か所で販売を行っている。	
課題	業務	各地区からの販売の要望に加え、高齢化率やニーズの高い場所での販売ができるよう、場所の選定が必要である。また、買物の機会のほか、高齢者の集いの場として利用できるよう、活用方法についての検討が望まれる。
	組織、予算等	
改善目標	各地区の販売の要望やニーズに応じて販売場所の見直しを適宜行っていく。 移動販売場所における集いの場やボランティア等の活動の機会を提供する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	369 生活支援体制整備事業					
予算科目	08-030301-15 生活支援体制整備に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン	Ⅱ-1	1	1	世代を超えた交流の拠点整備（サロン等）	新規・継続	継続
	Ⅱ-1	1	2	見守りやゴミ出し、買い物支援等の地域の	事業分類	自治事務（義務）
	Ⅱ-1	4	1	在宅医療、訪問看護の整備と適正化、福祉	事業体制	一部委託
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	介護保険法				SDGs	03すべての人に健康と福祉を
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	高齢者
目的	高齢者をはじめ、住民が担い手として参加する多様な主体によるサービスの提供体制を構築すること、そして互助を基本とした高齢者を支える地域の支え合いの体制づくりを推進することを目的とする。
概要 (取組内容)	地域の多様な主体を中心に支え合いの仕組みづくりを話し合う場である「第2層協議体」を各圏域ごとに設置する。協議体と協力しながら地域の様々な活動をつなげ組み合わせる調整役として、「生活支援コーディネーター」の配置を行う。その上で、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていく。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	29,179	30,906	31,063	29,746	29,746	
	決算額	(千円)	28,680	30,636	28,353	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6,596	7,045	6,524	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	16,563	17,693	16,372	0	0
		その他	(千円)	5,521	5,898	5,457	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,923	6,273	5,571	4,890	4,890	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	0.90	0.80	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	第2層協議体の設置数 (か所)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
	実績	7.0	7.0	7.0	7.0	0.0	0.0
指標の概要	(Ⅱ-1-①世代や分野を超えた地域の居場所づくりの拡充) (Ⅱ-1-④地域で安心して暮らし続けるための福祉サービスの充実)						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 第1層協議体では、2つの地域課題について、具体的に協議することができた。 第2層協議体では、地域課題や活動について情報共有、意見交換を行うことができた。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 第1層協議体は、年5回の会議を開催し、ごみ出し支援と移動支援の二つの地域課題に対し協議、タスクフォースを形成し、具体的な取組について協議した。 第2層協議体では、各圏域に合わせて会議を開催し、地域での集いの場や生活支援活動についての情報共有や社会資源集の作成等の取組を行った。
課題	<p>業務</p> <p>第1層協議体では、2つの地域課題について、地域住民の生活に即した具体的な施策につながるような協議が必要である。第2層協議体では、集いの場や生活支援等の取組が広がっているが、圏域全体に波及するよう共有や協議を行っていく必要がある。</p> <p>組織、予算等</p> <p>第1層協議体の構成や協議方法について、地域住民主体で話し合い、互助を基本とした地域の仕組みづくりが行える体制が望まれる。</p>
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 第1層協議体では、2つの地域課題について具体的施策へつなげる。また新たな地域課題についても協議を進めていく。 第2層協議体について、社協と連携し、各地区での協議を進め、地域住民主体の話し合いを加速させる。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	359 総合相談・支援事業					
予算科目	08-030301-11 包括的支援事業総務に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	包括支援係	
戦略プラン	II-1	3	1	地域包括支援センターの市内全域への配置	新規・継続	継続
	II-1	3	2	認知症や医療介護の出前教室や啓発講座の	事業分類	自治事務（任意）
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業体制	一部委託	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	事業期間	
					毎年度	
				03すべての人に健康と福祉を		
				11住み続けられるまちづくりを		

事業の概要

対象	高齢者
目的	地域の高齢者に必要な相談・支援を行う。
概要 (取組内容)	相談を受け、対象者のニーズに応じた適切なサービス、関係機関及び制度の利用につなげる等の支援を行う。市内6か所に委託設置している各圏域担当の地域包括支援センターと市地域包括支援課に設置している直営の地域包括支援センターにおいて総合相談・支援を実施する。（本事務事業と、地域包括支援センター運営指導事務、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業、権利擁護事務、実態把握訪問の事業費が重複していたため、令和4年度から分けて計上する。）

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	161,627	156,060	3,962	4,680	4,680	
	決算額	(千円)	145,693	147,429	3,676	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	28,048	33,909	847	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	84,136	85,140	2,122	0	0
		その他	(千円)	33,509	28,380	707	0	0
人件費	人件費計	(千円)	11,740	7,002	6,985	6,985	6,985	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.60	0.90	0.90	0.90	0.90
		正職員時間外勤務	(時間)	350.00	350.00	350.00	350.00	350.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	相談件数（直営）					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	
1	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	3,152.0	2,575.0	1,665.0	1,398.0	0.0
指標の概要	(II-1-③認知機能低下等の支援策情報発信と相談体制の充実)					

2	指標名	委託包括相談件数（6センター合計）（件）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	11,053.0	17,639.0	22,047.0	15,295.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	対応件数（直営）（件）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	3,880.0	2,935.0	2,320.0	2,036.0	0.0	0.0
	指標の概要	継続対応が必要な相談を明らかにするため、令和4年度から本指標を追加する。					
4	指標名	委託包括対応件数（6センター合計）（件）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	17,182.0	23,110.0	33,010.0	32,365.0	0.0	0.0
	指標の概要	継続対応が必要な相談を明らかにするため、令和4年度から本指標を追加する。					
5	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	実践力の向上のため、月例報告や相談票提出の機会に積極的に他センターや市から相談対応への助言を実施することとした。また、委託センター間の連携強化のため、各職種が集まる職種別ミーティングを実施した。	
成果	相談対応実践力の向上につなげることができた。また、職種別ミーティングにより各専門職の対応力が向上し、センター間の新たな連携体制が構築された。	
課題	業務	センター職員の支援困難事例の対応力向上
	組織、予算等	センター内で課題解決や目的を達成することができる組織作り
改善目標	各センター職員が、相談援助技術の向上に努め、高齢者の意思決定支援を行いながら関係部署や他機関と連携して対応する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	363 認知症サポーター養成事業					
予算科目	08-030302-15 認知症サポーター養成事業に要する経			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	認知症総合支援係	
戦略プラン	II-1	3	2	認知症や医療介護の出前教室や啓発講座の	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（義務）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	介護保険法				SDGs	03すべての人に健康と福祉を
						04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民・市内に在勤
目的	認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域の構築を目的とする。
概要 (取組内容)	認知症サポーター養成講座を開催することにより、同サポーターを養成するとともに、認知症相談窓口（各地域包括支援センター）を市民へ周知する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	2,871	2,787	2,742	3,543	3,543	
	決算額	(千円)	1,863	1,947	1,958	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	401	447	453	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	1,075	1,125	1,129	0	0
		その他	(千円)	387	375	376	0	0
人件費	人件費計	(千円)	9,692	7,005	6,982	6,982	6,982	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.40	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	広報つくば、市ホームページへの掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	地域包括支援センター運営協議会

指標の推移

1	指標名	認知症サポーター養成者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0
	実績	3,082.0	452.0	478.0	837.0	0.0	0.0
	指標の概要	(II-1-③認知機能低下等の支援策情報発信と相談体制の充実)					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	認知症サポーター養成講座は、参集形式だけでなくオンライン形式も取り入れ柔軟に実施することができた。また、キャラバン・メイト連絡会で、認知症対応例のDVDを作成し講座に活用することができた。
成果	認知症サポーター養成講座を31回開催し、837名のサポーターを養成した（学生、一般市民、企業、市職員等）。認知症サポーターステップアップ講座を2回開催（計22名参加）し、二つのチームオレンジの立ち上げにつながった。キャラバン・メイト連絡会の運営支援や、キャラバン・メイト養成研修も実施し、27名の養成ができた。
課題	<p>業務 地域住民、特に若い世代に対して、認知症の正しい理解や対応についての啓発がまだ不十分である。認知症サポーターが活躍できる場の確保が必要である。</p> <p>組織、予算等 -</p>
改善目標	若い世代を対象とした認知症サポーター養成講座を企画・実施する。オンライン形式の講座も取り入れ柔軟に対応する。また、サポーターになった方にステップアップ講座を実施し、認知症の方や家族の関わり方を学ぶことでサポーターの活躍の場となるチームオレンジの立ち上げにつなげる。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	366 在宅医療・介護連携推進事業					
予算科目	08-030301-12 在宅医療・介護連携推進に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	包括支援係	
戦略プラン	Ⅱ-1	3	2	認知症や医療介護の出前教室や啓発講座の	新規・継続	継続
	Ⅱ-1	4	1	在宅医療、訪問看護の整備と適正化、福祉	事業分類	自治事務（任意）
	Ⅱ-1	4	2	多職種がつながる医療福祉連携体制の整備	事業体制	一部委託
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	介護保険法				SDGs	03すべての人に健康と福祉を
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	高齢者
目的	医療と介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護の専門職や関係機関の連携強化を図り、連携を推進する体制を整備する。
概要 (取組内容)	つくば市の在宅医療・介護連携に関する課題に対して、推進協議会で解決に向けた検討を行う。医療介護の関係機関を対象とした意見交換会や研修会の開催、在宅医療市民啓発講座を行い、つくば市の医療と介護の連携が推進される仕組みづくりを推進する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	4,648	4,234	3,963	4,112	4,112	
	決算額	(千円)	2,586	2,761	2,822	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	594	636	650	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	1,494	1,594	1,629	0	0
		その他	(千円)	498	531	543	0	0
人件費	人件費計	(千円)	10,446	9,128	9,779	9,779	9,779	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	1.30	1.40	1.40	1.40
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	啓発講座の開催・市ホームページ掲載
企画・立案、計画	在宅医療・介護連携推進協議会及び実務部会
実行	市ホームページ掲載
評価、検証	在宅医療・介護連携推進協議会及び地域包括支援センター運営協議会

指標の推移

1	指標名	多職種研修会等の参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	800.0	800.0	800.0	800.0	800.0	800.0
	実績	441.0	323.0	970.0	781.0	0.0	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-1-③認知機能低下等の支援策情報発信と相談体制の充実) (Ⅱ-1-④地域で安心して暮らし続けるための福祉サービスの充実※指標内訳地域リーダー研修、CM研修、講座、意見交換会等参加者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、ホームページの改修や市民を対象としたオンライン講座や啓発講座を開催した。また、専門職を対象とした研修会・意見交換会は、各専門職団体に働きかけ、参加者の固定化への対策を講じた。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険認定更新者へのアンケートの回収率は29%だった。データが蓄積され事業の評価し指標として活用できるまでになった。 ・研修会・意見交換会の参加者の約半数が、在宅医療・介護連携推進事業の初めての参加であり、顔の見える関係づくりにつながった。 	
課題	業務	<ul style="list-style-type: none"> ・療養生活の選択肢の一つになるように、市民へ在宅医療・在宅介護の普及啓発を図る必要がある。 ・入退院時の専門職間の情報共有やサービス資源の共有が十分でない。
	組織、予算等	超高齢社会において、医療と介護を利用する高齢者が増え続けており、専門職からの医療と介護の連携に関する相談を支援する体制整備が必要である。
改善目標	在宅医療・介護の普及啓発や連携に係る相談を支援する「在宅療養支援センター（仮）」等の設置を検討する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	357 介護支援ボランティア事業					
予算科目	08-030201-14 介護支援ボランティア事業に要する経			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン	Ⅱ-1	4	1	在宅医療、訪問看護の整備と適正化、福祉ボランティア事業の推進	新規・継続	継続
	Ⅱ-2	2	2		事業分類	自治事務（任意）
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業体制	一部委託
	根拠法令等	介護保険法				事業期間
				SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	高齢者の介護支援ボランティア活動を通じた地域貢献や社会参加を奨励・支援し、介護予防を推進する。
概要 (取組内容)	市内に住所を有する65歳以上（つくば市第一号被保険者）で要支援・要介護認定を受けていない方が、介護支援ボランティア登録を行い、市が指定した介護支援ボランティア受入機関等でボランティア活動を行った場合、活動実績を評価した上でポイントを付与し、当該登録者からの申出によりポイントに応じた交付金を交付する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	2,542	2,337	2,181	2,181	2,181	
	決算額	(千円)	1,817	1,735	1,799	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	961	919	470	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	628	599	619	0	0
		その他	(千円)	228	217	710	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,422	1,428	2,786	1,424	1,424	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.40	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	介護支援ボランティア実活動者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	実績	71.0	2.0	4.0	5.0	0.0	0.0
指標の概要		(Ⅱ-1-④地域で安心して暮らし続けるための福祉サービスの充実) (Ⅱ-2-②誰もががっつき役割を持つ社会参加の環境整備)					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	ボランティア活動が行えなかった登録者も多かったが、交流会を開催し情報の共有の機会を持つことができた。また、ボランティア活動場所の増加と活動者への周知を行うことができた。				
成果	感染症拡大により、ボランティア活動が困難な状況は継続していたが、高齢者施設への聞き取り調査を行い、ボランティア活動場所や内容について情報を更新し、活動者へ発信し、活動数を増加させることができた。また、少人数での交流会を行い自身の介護予防を考え、情報共有と交流の場を持つことができた。				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td>新型コロナウイルス感染症拡大により、ボランティア活動者数が少ない状態が続いている。</td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td></td> </tr> </table>	業務	新型コロナウイルス感染症拡大により、ボランティア活動者数が少ない状態が続いている。	組織、予算等	
業務	新型コロナウイルス感染症拡大により、ボランティア活動者数が少ない状態が続いている。				
組織、予算等					
改善目標	新型コロナの収束を見計らい、高齢者施設等との調整を行い、活動場所を拡大していく。また必要に応じて、活動希望者とのマッチングを行う。さらに、少人数での交流会を開催し、活動を継続するための情報共有や自身の健康増進や介護予防につなげる企画を行う。				

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	367 地域ケア会議推進事業					
予算科目	08-030301-14 地域ケア会議推進に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン	II-1	4	2	多職種がつながる医療福祉連携体制の整備	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	全て委託
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	介護保険法				SDGs	03すべての人に健康と福祉を
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	高齢者
目的	介護支援専門員等ケアチームの自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高め、地域ネットワーク構築及びケアマネジメント支援、地域課題の把握等を推進し、資源開発や地域づくり、政策形成につなげる
概要 (取組内容)	つくば市全域・圏域別・個別の3種のケア会議を開催する。 市全域会議では、抽出された地域課題について協議し、その課題解決に向けた社会資源の開発や政策提言につなげる。圏域別会議では個別事例の解決に向けた検討、また個別会議では、自立支援・重度化予防の観点に基づいた検討を中心に開催する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	562	584	438	826	826	
	決算額	(千円)	284	353	325	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	149	185	70	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	99	123	190	0	0
		その他	(千円)	36	45	65	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,046	5,711	5,012	4,331	4,331	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	0.80	0.70	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	地域ケア会議開催件数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	実績	3.0	3.0	4.0	5.0	0.0	0.0
	指標の概要	(II-1-④)地域で安心して暮らし続けるための福祉サービスの充実)					

2	指標名	圏域別ケア会議開催件数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0
	実績	33.0	26.0	36.0	36.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	自立支援型ケア会議開催件数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0
	実績	10.0	8.0	11.0	11.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	圏域別ケア会議を実施する各委託地域包括支援センターへの事例検討手法に関する研修会を実施し、事例検討を通じた個別課題解決力向上支援を行った。また、在宅支援に関わる薬剤師及びリハビリテーション専門職からの事例提示を取り入れ、医療・介護連携上の課題確認を行った。	
成果	個別課題解決力の向上につながるとともに、積み重ねた課題から解決のための意見集約を行う等、地域包括支援センターによる地域課題整理の向上にもつながり、総合的な実践力の向上となった。一方で、医療職種から提供のあった事例検討を通じて、在宅医療と介護の専門職間の課題意識の違いや、相談先の周知不足等の地域課題の抽出につながった。	
課題	業務	抽出された地域課題について、医療・介護・障害・地域と分野が多様化している。これらの課題に関連する部署と連携するとともに、地域課題解決に向けた検討を加速させるための体制を整える必要がある。
	組織、予算等	現在、生活支援体制整備推進会議との合同により市全体の地域課題の検討を実施しているが、それ以外の事業と地域課題の共有及び課題解決のための検討が必要であるため、会議組織変更の検討が必要。
改善目標	多様化する個別課題について、事例検討を通じて解決となるよう、継続したケア会議実践力向上への支援を行う。地域課題検討の場（会議）について、検討を停滞させることなく、他分野と重なる地域課題の解決に向けた体制を整え、実施する。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	